

【前橋市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領では、子供たちが「豊かな創造性を備え、主体的・対話的で深い学び」を実現することが求められています。この目的を達成するため、令和元年12月に提唱された「GIGAスクール構想」に基づき、令和2年度末には全児童生徒に1人1台の端末が整備されました。これにより、個別最適化された学びの推進が可能となり、すべての子供たちに平等な学びの機会が提供されています。

本市では、学校教育における目指すべき子供像として、「多様な人と協働しながら、主体的・創造的に活動する子供」を掲げています。この姿を実現するため、令和3年4月に策定した「前橋市学校教育情報化推進計画」に基づき、ICTを活用して「自らの可能性を広げ、新たな価値を創り出す学び」の提供を目指しています。さらに、令和5年2月に策定された「第3期前橋市教育振興基本計画」では、ICTの重要性が示され、児童生徒の情報活用能力の向上が目指されています。これらを踏まえ、効果的なICT活用、情報活用能力の育成、学びの保障、校務の効率化を推進します。

2. GIGA第1期の総括

本市では、LTE通信を活用してどこでもインターネットにアクセスできる環境を提供し、学びの場を広げることができました。これにより、協働学習の機会が増え、情報活用能力が向上しました。特に、低学年の児童も直感的に学習を進めることができ、学びの幅が広がりました。しかし、キーボード入力機会が減少したことが課題となっています。今後は、計画的にタイピングスキルを向上させるため、キーボード一体型端末の導入を進め、スキルの向上を図る必要があります。また、通信状況が時間や場所によって変動するため、授業中に接続できない、通信速度が遅いなどの課題もみられました。

そこで、今後は、前橋市の方針である「いつでも、どこでも、繋がる」LTE通信環境の整備を進めるとともに、改善が必要な学校の普通教室にはWi-Fi環境を整備します。さらに、端末の更新や不具合対応などの運用業務の負担が大きく、効率化が求められます。また、本計画策定にあたり、前橋市教育情報活用推進委員会や学校DX戦略アドバイザーの意見、各学校のアンケート結果等を反映しました。

3. 1人1台端末の利活用方策

今後も、LTE通信を活用した環境を提供し、ICTツールを活用した学習を推進し、教師と児童生徒、さらには児童生徒同士の学び合いを促進します。また、マルチタスク機能を活用した学習を推進し、複数の作業を同時に進行することで学習効率を向上させます。これにより、思考力を高め、学びの定着を図ります。さらに、キーボード一体型端末を導入し、日常的に文字入力を行える環境を整備することで、タイピングスキルの向上を目指します。

学習支援システムを活用して、児童生徒の進捗や理解度に応じた個別学習支援を実施します。不登校児童生徒には、オンライン学習支援や交流活動を通じて、学びの機会を保障します。また、端末を活用した「心の健康観察」の導入を検討し、児童生徒の心身の状況把握と支援体制の充実を図ります。さらに、次世代型校務支援システムと連携し、教員が児童生徒の学習状況や進捗を分析し、より個別に対応できる体制を整えます。

これらの方策を推進し、児童生徒が主体的に学び、将来必要となる能力を育むための環境を整備します。